



9月30日(火) 高齢者介護課 ☎57-8510 百歳を祝い、お祝い状を贈呈

毎年、百歳を迎えられる方に、内閣総理大臣よりお祝い状と記念品が贈呈されています。

今年度の対象者は6人。清藤真司市長が自宅や施設を訪問し、お祝い状と記念品を贈呈しました。



監査委員事務局 ☎57-8514 監査委員から意見書が提出されました

平成25年度における会計決算書について、市監査委員から意見書が提出されましたので、内容を一部抜粋してお知らせします。

『厳しい財政状況の中で、経常収支比率や市税等に考慮し、今後より一層諸経費の削減と施策の緊急度を的確に把握し、行政の簡素化・効率化に努め将来を展望した計画的な行財政運用によって健全財政の維持向上を図ることが喫緊の課題です。』

市民が将来にわたって安心して暮らすことのできる「まちづくり」と、市の更なる発展に期待します。』



9月25日(木) 地域支援課 ☎57-8503 県知事と意見交換を行いました ～対話と実行行脚～

県では「対話と実行」の県政を進めるため、尾崎正直知事が直接県内各市町村を訪れ、県民との意見交換を行っています。

この日、知事は清藤真司市長とともに弁天座、赤岡小学校、ヤ・シィパーク、野市町東町・東中筋まちづくり協議会、三宝山、西川地区集落活動センターを巡り、商品開発やイベント、情報発信による地域の活性化をはじめ、自主的な住民活動、南海トラフ地震対策、三宝山の利活用など、さまざまな取り組みや提案について話し合い、地域にとっても非常に有意義な意見交換が行われました。



総務課 ☎57-8500 くらしのガイドブック掲載の広告主を募集

市では、市役所での各種手続きや市民生活に役立つ行政情報、地元特産品の紹介、観光、文化など地域に関する情報を掲載した「香南市くらしのガイドブック」を(株)サイネックスと官民協働で作成し、来年5月頃までに市内全世帯に配布を予定しています。

このガイドブックは同社が広告主を募集し、その広告費で印刷・製本、配布をするため、行政の財政負担を伴わずに作成することができます。

広告主募集のため、同社担当者が事業所などを訪問しますので、ご協力をよろしくお願いいたします。

【問い合わせ先】

- 広告掲載について
(株)サイネックス徳島支店
☎088-623-0530
- 事業の内容について
総務課総務係



▲これは前回作成したガイドブックです

歴史 土佐絵金歌舞伎伝承会、さめき歌舞伎まつりへ参加 歴史ある舞台上で上演

9月20日(土)、21日(日)に香川県琴平町の金丸座で開催された「さめき歌舞伎まつり」に土佐絵金歌舞伎伝承会が参加しました。

金丸座は、現存する日本最古の芝居小屋で、その舞台では現代の名だたる歌舞伎役者たちが毎年公演を行っています。

香川県内外から7つの農村歌舞伎が集まるなか、土佐絵金歌舞伎伝承会もその歴史ある舞台上に立ち「二月堂良弁杉の由来」を上演。観客からたくさんの拍手を送られた伝承会のスタッフは、「今後の活動の大きな励みになる」と話していました。



▲演目「二月堂良弁杉の由来」を披露する出演者たち

チ かがみオータムハーベスト チューリップ広場で新しいイベント、始めました

9月27日(土)香我美町岸本のチューリップ広場で新しいイベント「かがみオータムハーベスト」が開催されました。

毎春、8万本のチューリップが咲き誇り、大勢の来場者があるこの広場。チューリップの時期以外も足を運んでもらおうと、このイベントのために新たに実行委員会が結成され、すべて手作りで開催されました。

快晴の下、ステージでは高知工科大生らのダンスや、高知ファイティングドッグスを引退したばかりの梶田宙さんのトークショーなどが催され、来場者はこの新しいイベントを一日中楽しんでいました。



▲みんなで「こーにゃんリズム体操」。一緒に踊ろう!

波 第11回ヤ・シィカヤックマラソン2014 間をスーイスイ

10月19日(日)ヤ・シィパークと夜須沖で第11回ヤ・シィカヤックマラソン2014が開催されました。

初心者からベテランまで、5つの部門に78人がエントリー。シーカヤックで土佐湾を漕ぎ行くレースに挑みました。タイムを競う大会ではありませんが、なかにはコースの途中で、海底に広がるサンゴをのぞいて楽しむ選手も。

それぞれのペースでシーカヤックの楽しさを味わい、多くの参加者から「また来年も参加したい」との声が聞かれた大会となりました。



▲快晴の下、水面を進む参加者たち

美 アサギマダラのマーキング大会 美しい渡り蝶の生態を調査

10月19日(日)香我美町西川地区の「花公園」を会場に、海を渡る蝶「アサギマダラのマーキング大会」が開催されました。この蝶は海を渡り、遠くは台湾や香港まで飛んでいくことで有名ですが、この実態を明らかにするために全国でマーキング調査が行われています。

この日は「アサギマダラの里in秋葉山」の山崎三郎さんから指導を受けた約40人が、捕獲網で捕まえた蝶の羽にしるしを付けました。花公園には、蝶の好むフジバカマという花を植えており、蝶が多く集まります。主催する西川地区集落活動センターのメンバーは、「この蝶がどこまで旅をするのか楽しみ」と笑顔で話していました。



▲マーキング後、羽を休めるアサギマダラ